

福井敬一常設展 Vol.2 0

踊るひと

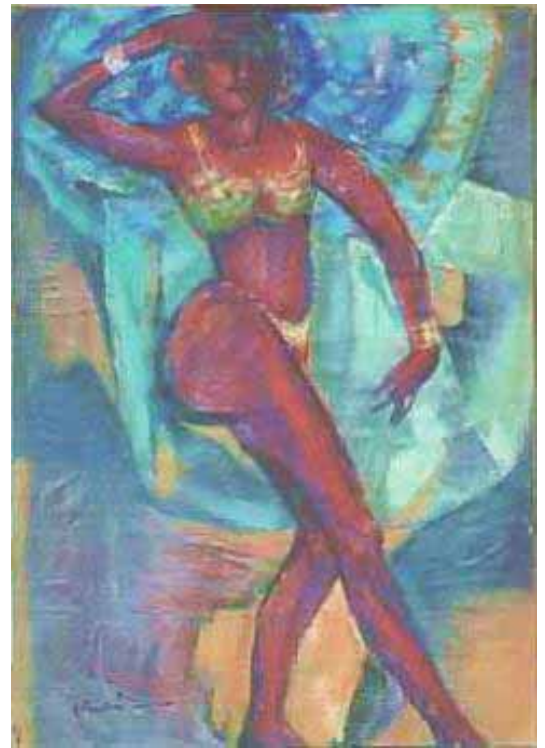


踊る 1994年

日 時 : 7月24日(金)~ 11月23日(月)
会 場 : シルキープラザ2階 アートギャラリー
開館時間 : 9:00 ~ 17:00 (入場無料)
主催 / お問い合わせ先 : 須坂市生涯学習スポーツ課
須坂市大字須坂 1528 番地の1
TEL026 - 248 - 9027 FAX026 - 248 - 8825
電子メール:
shogaigakushusports@city.suzaka.nagano.jp



憩うバレリーナ 1950年



踊り 1993年



おどる人 1994年

福井敬一は20歳で画家を志し、上京します。苦しい生活の中で、描くことに情熱を燃やしました。

車窓からの風景に電車を途中下車したり、自分の求めるイメージやモチーフに近いものを求め歩き、あらゆる方面にスケッチに出かけました。原宿にあるバレエ教室にも通いスケッチを重ねました。

同じモチーフを何度も何度も描き続けた福井敬一の年代により変化する作品をご覧ください。

今回は「踊るひと」をテーマに39歳から86歳までの作品12点を展示いたします。1993年に「鈴木光代(バレリーナ)の油をメインに踊る人の種々を表現する」(出典『自伝的制作作品リスト6』)とあります。また「原宿のバレエ教室に毎週通ったがつかめない。ドガのように楽屋なら自由に絵になるが基本の踊りではどうも絵になりにくく困った。」(出典『自伝的制作作品リスト7』)絵を描くことに関してあくまでも貪欲に追求する福井の苦悩が伺えます。初期の頃はドガの「踊り子」を意識しつつ年代により、構図・技法・タッチなど次第に変化していく福井敬一の作品をお楽しみください。

福井敬一の常設展示について

福井敬一(ふくいけいいち)は、1911年(明治44)台湾に生まれ帝国美術学校卒業後、油彩画を中心に制作活動を行い国内美術界をリードしてきました。1953年(昭和28)「上高井美術同好会」の講師となり、以来37年間にわたり毎年須坂市を訪れ地域の美術指導にあたってきました。2003年(平成15)福井敬一死去。その前年、自身の希望により600余点の作品を須坂市に寄贈しました。これらの作品を市民の芸術文化振興に活用するため、年3回テーマを設け展示替えを行っています。